



津奈木中
学校便り
No. 5

夢実現・挑戦

令和5年8月30日

津奈木町立津奈木中学校

校長 高橋 裕二

「や・か・ぜ」の精神

35日間の夏休みが大きな事故等もなく無事に終わり、2学期がスタートしました。

夏休みは、県中体連陸上競技大会やNHK全国学校音楽コンクール熊本大会、郡市中体連駅伝練習、数学と英語の地域未来塾など、生徒の皆さんは頑張ってくれました。特に、駅伝練習は、野球部、バレーボール部も一緒に練習し、心身の強さやたくましさにつながったと思います。

また、2年原田君は、高知県で行われた全国中学校体育大会相撲大会団体戦に佐敷中の選手と一緒に出場し、予選を突破してベスト32まで進出しました。



【7月 県中体連陸上競技大会】

始業式では、甲子園で行われた全国高校野球選手権大会で、ベスト4に進出した鹿児島県代表の神村学園の「やかぜ」の精神の話をしました。「やかぜ」とは、「やればできる」「かならずできる」「ぜったいできる」の頭文字から取ったものです。

この言葉を知ったきっかけは、約15年前に数学を教えた男子生徒が神村学園サッカー部に入部し、全国高校サッカー選手権大会でベスト8に進出して、出場記念にももらったスポーツタオルに書いてあったからです。

「自分にはできない」「自分には無理」「自分には能力がない」と諦めたら、そこで自分の夢や目標は終わります。きついことや嫌いなこと、努力することから逃げずに、何事も「やかぜ」の精神で、夢実現に挑戦する活力ある生徒を目指してほしいです。



【8月 NHK音楽コンクール】

最後に、2学期も引き続き、授業を中心に一人一人の学力向上に取り組んでいきます。そして、2年職場体験、郡市中体連駅伝大会、3年こども議会、文化祭、3年共通テスト、1・2年県学力・学習状況調査、2年修学旅行など、多くの学校行事等で、生徒の主体性や社会性も伸ばしていきたいと考えています。

全国学力・学習状況調査の分析結果

4月に3年生は全国学力・学習状況調査を受け、夏休み中に結果が出ました。国語、数学、英語の調査問題結果を分析しましたので、お知らせします。

全学調は、思考力・判断力・表現力を問う問題が多く出題され、国数英の3教科の学力だけでなく、すべての教科の学力、そして学校全体の教育力や総合力が問われていると、私は考えています。

◆数字は平均正答率(%)、カッコ内は平均正答数

	国語 (15問)	数学 (15問)	英語 (17問)
全国	69.8 (10.5)	51.0 (7.6)	45.6 (7.7)
熊本県	69 (10.3)	48 (7.2)	42 (7.1)
本校	76 (11.5)	47 (7.1)	43 (7.3)

※熊本県と本校の数値は、小数第1位を四捨五入

【成果と課題】

○国語は全国や熊本県を大きく上回り、数学と英語は熊本県とほぼ同程度である。

●数学と英語は、正答率3割未満の生徒が約30%おり、基礎基本の徹底を図る必要がある。

●数学は相手に伝わる説明、英語は自分の考えやその理由、まとまりのある文章を書くことに課題がある。

【今後の対策】

◇すべての授業で、根拠や理由を明確にして、自分の考えを説明させたり、書かせたりする活動を入れる。

◇授業で、学習規律や学習訓練に力を入れるとともに、生徒の提出物や宿題忘れをなくしていく。

◇朝自習の基礎プリント、つなぎタイム(25分)、基礎学力テスト等で、「読み・書き・計算」を徹底する。

夏休み、私の一番の出来事は、8月6日に開催された「みなまた競り舟大会」に出場したことです。まずもって、津奈木海龍チームの皆様、優勝おめでとうございます。JNCや疾風、深川、4区などの強豪を破っての優勝でした。また、津奈木中教頭時の生徒2人が声をかけてくれました。さて、私は生れ育った石坂川チーム(緑東中校区)で出場しました。1回戦は同組の津奈木海龍に続いて2位で2回戦に進出しました。2回戦は深川と、以前の大会で敗れたこともあるアクトビーが同組でした。スタートして約50m、横を見るとアクトビーより一艇身先を進んでおり、まさかの2位で準決勝まで進みました。しかし、当日は1回だけ漕ぐはずでしたが、3回漕ぐこととなり、今も腰痛で苦しんでいます。